

名古屋国際会議場

大規模改修工事進捗状況のお知らせ

令和7年12月 Vol.4



名古屋国際会議場は令和7年2月から令和9年3月末まで閉場し、大規模改修工事を実施しております。場内の改修工事の令和7年11月時点の進捗状況をお知らせしてまいります。

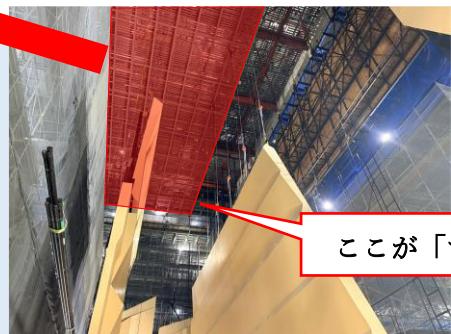
センチュリーホール



※舞台の真上にある格子状の設備。東京では「すのこ」と呼ばれ、京阪では「葡萄棚」と呼ばれています。上から仕掛け物を吊ったり、舞台に散り花や雪を降らしたりします。

11月にご紹介した舞台の床から27m上にある「すのこ」の様子です。舞台の真上にあるため普段目には見ることはありません。現在は既存の舞台装置やワイヤーの撤去が完了し、新設工事が始まっています。（写真左〇は新しい設備です）

↓舞台から上部を見上げた写真



ここが「すのこ」

建物南側 外装工事状況

建物南側の外装改修工事状況の写真です。当工事では、外壁タイルの補修、建具の塗装、継ぎ目等のシール打ち換え、クリーニング等の工事を行っています。写真に見られる通り、組立式の足場だけでなく、ゴンドラを使い作業を行っています。外装工事は天候や気温の影響を受けやすく、塗装工事やシール工事（※）は雨や雪が降っていると品質不具合が起こることがあります。また、外気温が5°C以下の場合は品質不具合が起こる場合があるため施工できません。天候や外気温に留意し、工事を行ってまいります。



※シール工事とは水密性・気密性のために部材接合部の隙間や目地にシーリング材を充填する工事です。目地にペースト状のシーリング材を充填後、シーリング材が硬化することにより、上記性能を発揮します。